

一 次の文章を読んで後の問に答えよ

初めて「そばや」さんへ入ったのは、いつの日だったろうか。

私が生まれて育った北海道上磯郡知内町の生活にもそばというものはあったが、それは家庭での主食の一つでいろんな野菜を炊き込んだ、それだけでお腹がいっぱいになるたぷりとしたものだった。当時は、いわゆる、今、何処にでもあるような、商店としてのそば屋さんは、知内の町にはなかったと思う。

高校に入って函館へ通うようになると都会・函館には、そば屋というよりも何でも屋といった感じの食堂があった。けれど当時の風^aチヨウとして、高校生の^①分際でのれんをかき分けて、うどんとかラーメンをすすするのは許されないことだった。

食べ盛りの高校時代は、知内の町から函館の町まで片道一時間半をかけての汽車通学。朝五時過ぎの一番列車に乗って座席に陣取るとまず二段重ねの弁当箱を開いて朝飯用の弁当を食べる。残ったもう一段の弁当は、本当の昼の弁当だ。しかし、これも昼前にはもう空っぽで、下校時には腹ぺこ状態というのが毎日のパターンだった。

決して裕福とはいえない当時の生活で、甘いものも食べたい、満腹感も欲しいという若者にとって、この空腹感を満たしてくれるのは、ジャム付きのコッペンが一番だった。二十円も三十円もするうどんやラーメンは、ぜいたく品だし、ましてやいつも家で具のいっぱい入ったそばを腹いっぱい食べつけている身にとつては、お金を払ってまで「そば」を食べるという感覚は、まだなかった。

昭和二十九年三月、まだ^②紅顔の美少年だった私は、歌手になることを夢見て、北海道知内の片田舎から、ボストンバツグ一つを手に、青函連絡船に揺られて、^bユウ躍華の東京へと出てきた。修学旅行で一度だけ来たことのある大都会東京という街は生活の場として降り立ってみると右を見ても左を見ても目くるめくことばかり。春まだ浅い東京の風は、冷たく吹きつけたが、夢と希望に胸ふくらんだ若者にとつてはまだまだ甘く、ほんわかとしたものに感じられた。

しかし、現実が始まった生活はたちまち酷しい牙をむいて迫ってきた。新小岩にあるおばさんの家に下宿して音楽学校に通う日が続いた。音楽学校の帰りに駅前を通ると「きそば」と書いてあるのれんの向こうから、食欲をそそる何とも言えない匂いが流れて来る。お。ソ。末な話だけれど当時は「きそば」という字が読めなくて、その匂いのする店が何屋さんなのかも判らなかつた。何しろ北海道育ちの私の感覚の中には、^③そばを商売として食べさせるところだと判つたのは、上^dギョウだ。その食欲をそそる匂いが、かつお節のだしを引く匂いで、その店がそばを食べさせるところだと判つたのは、上^dギョウ後しばらくたつてからのことだった。

「そばや」というところに一度入って食べてみたいと思っても、^④懐具合がそれを許してくれず、ひもじきの方が先で、十円二十円の電車賃を節約。その浮かしたお金で一個十円のコッペンを囓りながら日比谷から新小岩まで、テクテク歩いたこともあるくらいだった。

新小岩のおばさんの家を出て、独立。大久保の下宿先で流しの演歌師としての生活が始まったけれど、やはり、ひもじきの方が先という生活が続いた。

そば屋ののれんが、平気でぐれるようになった(そばが主食として生活の中に入り込んだ)のは、渋谷で「大ちゃん」と呼ばれ、流しの演歌師としての生活も安定したころだったでしょうか。しかし持つて生まれた貧乏性というのか、^⑤盛りそばよりもかけそば、天ぷらそばよりもタヌキそばの方が、私にとつて心許せる「そば」なのである。これは今現在の生活でも続いていることで、値段や見栄の問題ではなくて自分の生活のペースの問題だと思っている。

ちよつとキザに聞こえるかもしれないけれど、血のしたたるようなステーキを食べるより、アジの^eヒ物やジャガイモの煮ころがし、大きな海老がふんぞり返っている天ぷらそばより、タヌキそばやカレーそばの方が、私の身に合った食べ物だといえる。

私の歌を支え、応援してくれる人たちは、デビューから三十七年たった今も私のことを「サブちゃん」と呼んでくれているが、このことは私にとつても誇りであり、この姿勢を崩すことは、みじんも考えたことはない。人様は何とおうと^⑥北島三郎はデビューした時から北島三郎であり「サブちゃん」だからだと思う。この「サブちゃん」の生活を支えてくれるのが、一杯のタヌキそばかもしれない。

季刊『新そば』編『そばと私』北島三郎の文章による。

問一 傍線部a～eのカタカナの部分の漢字をそれぞれ選んで記号で答えよ。 解答番号 a 1 b 2 c 3 d 4 e 5

- | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|----|----|----|----|---|-----|----|----|----|----|
| a | チヨウ | ①潮 | ②調 | ③徴 | ④懲 | b | ユウ | ①雄 | ②勇 | ③友 | ④有 |
| c | ソ | ①祖 | ②粗 | ③阻 | ④組 | d | キョウ | ①境 | ②況 | ③協 | ④京 |
| e | ヒ | ①火 | ②肥 | ③干 | ④皮 | | | | | | |

問二 傍線部①「分際」に込められた気持ちとして最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号⑥

- ① 初々しい ② 前途有望だ ③ 生意気だ ④ 血気盛んだ

問三 傍線部②「紅顔の美少年」に「傍点」が施されている理由として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号⑦

- ① 美しくない自分に対する自虐的な皮肉
② 向こう見ずな自分に対する全面的な反省
③ 歌謡界に飛び立とうとする絶対的な自信
④ 周囲の人より歌がうまいことに対する奢り

問四 傍線部③の理由として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号⑧

- ① 貧乏な生活では、コッペパンの方が安くておいしく腹一杯食べられるので、そばを食べるという感覚がなかったから。
② 「きそば」と書いてあるお店から何とも言えないいい匂いが流れて来るが、無知なため「きそば」という字が読めなかったから。
③ 昭和三十年代といえば、高校生はせいぜいラーメンをすするのが関の山で、そばは贅沢な食べ物であったから。
④ そばといえば、いろんな野菜を炊き込んだボリュームのある家庭料理の一つであり、金を払って食うという意識がなかったから。

問五 傍線部④の「懐具合」の意味として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号⑨

- ① そのときの空腹感 ② そのころの世間の目
③ そのときの所持金や収入 ④ そのときの日本の景気

問六 傍線部⑤の「私にとって心許せる」の意味として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号⑩

- ① 贅沢で高価なそばを食うことが一つの夢であったのでやっとその夢が達成された。
② 安くて質素なそばの方が貧乏を知っている自分には身近に思われ安心して食べられる。
③ 困難の中から苦勞して有名な歌手になったので、贅沢なそばを食べることに誇りを感じる。
④ 貧しさの中で母の作った弁当が最良で、安くて質素でもそばを食うのは後ろめたい。

問七 傍線部⑥に込められた思いの説明として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号⑪

- ① 何十年も芸能・歌謡界で活躍してきたという誇り高い思いは不変であり、この姿勢を崩すことは、とても考えられないという思い。
② デビューした時から一流の歌手としてマスメディアやコンサートで活躍し、押しも押されぬ歌手となってこの上なく喜ばしい思い。
③ 少年の頃より銀幕のスターとしてもてはやされた庶民のアイドル北島三郎は死ぬまで一貫して変わらないでいたいという思い。
④ 苦勞人である筆者は貧乏を知っている庶民に親しまれていることを誇りとしてきたので、庶民らしさが北島三郎らしさだという思い。

三年ほど前、学生のレポートに「精心」という字を見出したときには強い衝撃を受けた。

だが、この文字はまだ「精神」という語の「誤字」であるということがただちに分かる程度の「誤記」であった。

去年、学生のレポートに「無純」の文字を見出したときには、さすがに、しばらく動悸が鎮まらなかった。それが「精心」とは違う意味での、知的な「地殻変動」の兆^aコウのようにに思えたからである。

文脈をたどる限り、「無純」の語をこの学生はただしく「矛盾」の意味で用いていた。

「むじゅん」ということばの意味をこの学生は理解しているのである。「無純」という文字も「(対立者を含んでいるので)純粹では無い」という解釈によるのであろうから、決してデタラメとは言えない。むしろ、「むじゅん」という音と、文脈から、「無純」という「当て字」を推理した知的能力はかなり高いと申し上げてもよいくらいだ。

だから問題はむしろ、語義を理解し造語する能力まで備えた学生が、なお「矛盾」という文字を知らなかった、という点に存するのである。

もちろん、これまでも「矛盾」という字を書けなかった学生はいくらもいた。今でも「矛盾」と書いたり、「矛盾」と書いたりする例は珍しいものではない。けれども、これらの誤字は「矛盾」という文字のかたちを「正確には再現できない」というだけのことであり、その文字を「知らない」ということは違う。現に私たちは毎日のように、「正確には再現できないが、読むことはできる」文字を使ってコミュニケーションをしている。①「壁をかう」ということばは日常的に使われているが、「ひんしゅく」と正しく漢字で書ける人はあまりいない(私は書けない)。「語彙」の「い」の字や「範疇」の「ちゅう」の字を「どう書くの?」といきなり訊かれたら困る人は少なくないだろう。

だが、「無純」が暗示するのは、そういう種類の「知識の不正確さ」とは別の種類の「知識の欠落」が蔓^bエンしつ々あるという現実である。

なぜ、「矛盾」が書けないのか?

「本や新聞を読まないからだよ」と言つて済ませる人がいる。

だがそうだろうか。実際には、彼らはけっこう文字を読んでいる。

彼らが愛読する「マンガ」というのは絵と文字のハイブリッド・メディアであり、膨大な量の文字情報をも同時に発信している(だから識字率の低い国では、子どもたちが「マンガさえ読めない」ということが起こるのだ)。それに、彼らが日頃耽読^{たんどく}している情報誌やファッション誌もまた少なからぬ文字情報を含んでいる。

なぜ、これだけ文字に^cヒタつていながら、「文字が読めない」ということが起こるのか。

私の仮説は次のようなものである。

それは彼らが「飛ばし読み」という習慣を過剰に骨肉化させたためである。

私たち人間の知性にはもともと「意味のないノイズ」を無視して、自分にとって意味のあるものだけを選択的に拾つてゆくという「飛ばし読み機能」が備わっている。機械にはこんな芸当はできない。

逆説的な表現になるが、人間が機械よりも勝っているのは、機械には拾えない情報を検出することができる点ではなく、機械がいちいち拾ってしまうゴミ情報を無視することができるところ点においてである。その点では、「文字が読めない」大学生たちの知的構造はすぐれて②「人間的」なのだと思ふ。

彼らの知性には、「分からない文字は瞬時に飛ばして、読めなくても、気にしない」という「物忘れ機能」が初期設定されているのである。

どうして、そういうことになってしまったのか。いささか思弁を弄したいと思う。

通常、私たちは「自分程度の知的水準の読者を対象としている」と想定されているメディアで、自分の「読めない文字」や「意味の分からない単語」に出会った場合、「ぎくり」とする。文脈から推察できない場合は、人に聞いたり、(あとでこそ)辞書を引いたりして、語義を確定しようとする。そのような③「意味の欠如」に反応する不快や欠落感に担保されて私たちの語彙は拡大するのである。

ここまではよろしいな。

ところが、当今の若者たちの場合は、「自分たちの知的水準に合った」メディアに日常的に触れながら、「意味の欠如」を埋めようとする意欲がほとんど発生しない。読めない文字があっても気にならないのである。

④どうして、そんなことが起こるのか?

実物に即して説明しよう。次の文章は関西のある情報誌の音楽情報コラムのdボウ頭の一節である。

11月だ。イアン・シンクレアの最新作『ロンドン・オービタル』の出版に合わせ、ロンドンの「バービカン」で一風変わったイヴエントが開催される。グランタから出版されるこの本はM25―この作者が首都を取り囲むフェンスであると見なす幹線道路―に捧げられたものだ。このイヴエントではワイアー（「アヴァン・ウェイヴ／ポスト・ギャルド・パンクス」―彼等を覚えているかな?）、思い思いに装ったKLF（覚えてる?）、ビル・ドラモンド（100ポンドを燃やした男!）、起きがけにたつぷりのスコッチを飲むことで有名なSF作家JGバラード、そして最近ではピジン英語を世界的な言語として広めるプロジェクトと腹話術ワークショップで知られる紳士、ケン・キャンベルといった突飛なキャストが集められている。

(Paul Bradshaw, London Calling, 『Meets Regional』 二〇〇三年一月号)

私がこのパラグラフの中で意味の分かった固有名詞は「ロンドン」と「JGバラード」だけであった。いまどきの若者たちがどれほどワールド・ミュージック・シーンについて深い造詣を誇っているのか、私には想像できないが、このパラグラフを「すらすら」と読んで、その意味のすべてを理解できたのは「ミーツ・リージョナル」の読者の中にも決して多くはなかったであろう。

この引用はやや特殊すぎるけれど、それでも、このような文章ばかりを浴びるように読み続けた場合に、人間は文字情報に対してどのような反応をするようになるのか、ということとは容易に想像がつく。

それは「意味の分らないことばがあつても、気にしない」という反応である。

「覚えているかい?」というポール・ブラッドショウの親しげな呼びかけが暗示しているように、この文章が読者に求めているのは、ちょうど英語のヒットソングを（歌詞の意味が分からなくても）愉しむのと同じように、「ノリよい文章を読んでも、気分がよくなること」である。

「単語一つ一つの意味なんか、どうだっていいじゃないか」書き手だってそう思って書いているのである。

書く側読む側に共有されているこのような「テキスト＝音楽」的な受容態度が、「今どきの若者のリテラシーに初期設定としてビルトインされている『飛ばし読み』機能」を形成する心理的土壌をなしていると私は考えている。

同じことは英語まじりのDJ番組や、スタッフのあいだでしか通じない意味不明の「内輪ギヤグ」を平然と放送するヴァラエティ番組についても言えるだろう。いわば、^⑤メディアはほとんど意図的に「虫食い算」のようなかたちで情報を供与しているのである。そして、メッセージの受け手がその「意味の虫食い部分について、「え、いま何て言ったの?」「え、それ何?何のこと?」というふうに通語的に反応するのは「みつともないこと」だとされているのである。

いまの若い人たちが目にし、耳にする日本語の文章は、あまりに多くの「意味不明のことば」を含んでいる。そして、読者視聴者に期待されているのは、その逐語的理解ではなく、文章の持つグルーヴ感やテンションに同調して「乗る」ことなのである。

おそらくはそのようにして「無純」と書く大学生は誕生したのであると私は思う。

注 リテラシー 識字力または読解力

グルーヴ感 楽しさ、楽しい感じ

内田樹『ためらいの倫理学』の文章による。

ビルトイン 家の設計段階から予め組み込んでいること

問一 傍線部a～dのカタカナの部分の漢字を含む熟語として最も適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

a	コウ	① 機構	② 交際	③ 工業	④ 天候	解答番号 a	12	b	13	c	14	d	15
c	ヒタ	① 塗料	② 温泉	③ 浸透	④ 沸騰			d	ボウ	① 感冒	② 誹謗	③ 謀略	④ 暴言

問二 傍線部①の「^{ひんしゅく}壁を買う」の意味として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

① みんなの前で恥ずかしい目にあわされる	② ある言動によって人から嫌われ軽蔑される
③ 質の悪いものをそれと知らずに買ってしまう	④ 身に覚えのないことで周囲の怒りを買う

問三 傍線部②「人間的」の説明として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

① 絵と文字のハイブリッド・メディア「マンガ」をいとも簡単に理解する脳の発達が他の動物より優れているところ。	解答番号 17
② 映像や音楽ではなく、意味の続かないような言葉でもあくまでも言葉だけで理解しようとするところ。	
③ 自分にとって意味がないと思われる事柄は無意識のうちに棄ててしまうという機能を働かせているところ。	
④ 学生の識字率が高く、日頃から情報誌やファッション誌を耽読して他の動物にはない知性を働かせているところ。	

問四 傍線部③をわかりやすく言い換えたものとして最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 18

- ① 分からない言葉にたいしては脳が拒絶反応を示していやな感じになり、耳からも目からも覚えにくく、特に外国語を学ぶのは難しい。
- ② 理解できない言葉に出会ったいやな感じを埋めようとして、人に質問したり辞典で調べたりすることによって自分の知っている言葉が増える。
- ③ 人間の脳は偉大であり、全く知らなかった外国語でも何度も何度も繰り返して聞き、読むうちに自然と分かるようになるものだ。
- ④ 意味不明の言葉に出くわすと脳は混乱するが、その混乱を修復しようと逆に脳が活性化するため言葉や文字の学力が向上していく。

問五 傍線部④「どうして、そんなことが起こるのか？」に対する筆者の答えとして最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 19

- ① 今どきの若者は、自分の知的水準以上の情報を読書などをして手に入れようとはしないで情報誌やファッション誌程度のものしか読んでおらず、知らなくては損だとする知識の範囲が非常に狭いから。
- ② 今どきの若者は、本を読まないために不正確な知識・情報しか身につけられないのに、自分の知識が正確か不正確かを検証しようとしなくてあやふやな情報のまま発信してしまうから。
- ③ 今どきの若者は、書く側と読む側に共有されている文章の音楽的な受容態度によって、しゃべる能力が昔より高められており、そのため活字にしなければならない文章でもしゃべるように書くのが上手だから。
- ④ 今どきの若者は、言葉の意味にこだわるよりも、言葉の楽しさやノリよさに価値をおくように育っているので、知らない漢字や言葉を読み飛ばしたり聞き流したりして気にしないようになっていくから。

問六 傍線部⑤をわかりやすく説明したものとして最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 20

- ① メディアは、系統立った知的な情報は流さないで、正確な意味が分からなかったり、部分的にしかわからないような情報でもわざと流している。
- ② メディアは、スタッフのあいだでしか通じない意味不明の「内輪ギャグ」を平然とヴァラエティ番組で放送し、そのギャグが分からない視聴者を馬鹿にする。
- ③ メディアは、若い人たちが目にし、耳にする日本語の多くが「意味不明のことば」を含んでいることをほとんど自覚しないで情報を垂れ流す。
- ④ メディアは、視聴者から「え、いま何て言ったの?」「え、それ何?何のこと?」などと聞き返されることは報道の質が悪い結果だとしておそれている。

三 次の熟語の類義語として適当なものをあとの語群から選んで記号で答えよ。

- | | | | | | | | |
|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|
| ア抄録 | 解答番号 21 | イ考慮 | 解答番号 22 | ウ上品 | 解答番号 23 | エ処罰 | 解答番号 24 |
| オ頑健 | 解答番号 25 | カ既往 | 解答番号 26 | キ深慮 | 解答番号 27 | ク準備 | 解答番号 28 |

- ① 支度 ② 過去 ③ 抜粋 ④ 典雅 ⑤ 遠謀 ⑥ 勘案 ⑦ 屈強 ⑧ 滑稽 ⑨ 懲戒

四 次の□に漢字を補って慣用句を完成させよ。答えはあとの漢字から選んで記号で答えよ。

- | | |
|---------------|---------|
| ア蛇の道は□ | 解答番号 29 |
| イまな板の上の□ | 解答番号 30 |
| ウとりつく□もない | 解答番号 31 |
| エ泣く□と地頭には勝てない | 解答番号 32 |
| オ天高く□肥ゆる秋 | 解答番号 33 |
| カ君子は□変する | 解答番号 34 |
| キ□より育ち | 解答番号 35 |
| ク井の中の□大海を知らず | 解答番号 36 |

- ①蛙 ②子 ③島 ④鯛 ⑤馬 ⑥蛇 ⑦鯉 ⑧氏 ⑨豹

【五】 次の慣用句の意味として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号ア 38 イ 39 ウ 40 エ 41 オ 42 カ 43 キ 44 ク 45

ア 一世を風靡する

- ①その時代に受け入れられ広くもてはやされる ②ほんの一瞬輝いて消える。
③長い間廃れたり消えたりしない価値を持つ ④世の中のみんなから非難される

イ 気の置けない

- ①気を遣わなくてはいけない
②気を遣わなくてよい
③おっとりとするしている
④少しの油断もできない

ウ 糊口をしのぐ

- ①封筒を厳重に閉じる
②厳しい戦いにやつと勝つ
③貧困でやつとその日を暮らす
④厳しい冬の生活を乗り越える

エ 人口に膾炙する

- ①国や村の人々がよそに移動する
②おいしいものをたくさん食べる
③人々に誉められて広く知れ渡る
④農作物がたくさんとれる

オ 間尺に合わない

- ①ものの始まりで早くもつまづく
②損得が釣り合わず損をする
③うまくタイミングがつかめない
④人間関係が順調に進まない

カ 昔とった杵柄

- ①若い頃に活躍した栄光
②遺跡から発掘した文化財
③以前に獲物を捕らえた場所
④昔鍛えた得意の腕前

キ 側杖を食う

- ①ぬれぎぬによる汚名を返上する
②関係ないのに思わぬ幸運に会う
③仲違いの仲裁をする
④関係ないのに思わぬ災難をこうむる

ク 風采のあがらない男

- ①外見が野暮ったく貧弱な印象の男
②いつまでたつても出世しない男
③何をやっても下手な男
④仕事に対して意欲をもてない男

【六】 次の空欄 A～E に適切な語を入れて文章を完成させよ。答えは後の語群から選んで記号で答えよ。

解答番号 A 46 B 47 C 48 D 49 E 50 F 51

大正時代に行き詰まりを見せていた自然主義文学に対抗して三つの文学運動が起こった。

自然よりも人工を大切にし、何よりも文学の中で「美」を追求したのが耽美派の作家である。雑誌「スバル」や雑誌（A）で活躍した作家が多く、（B）は『あめりか物語』、『ふらんす物語』を発表した。

これに対し志賀直哉、（C）らは個人とその自由を尊重し、人間を善なる者と肯定して作品を発表した。彼らは発行する雑誌の名前から「D」派と呼ばれた。

また、菊池寛、芥川龍之介、久米正雄らは雑誌「E」に拠って活動し、彼らの立場は奇蹟派とともに「F」と呼ばれた。

- ①三田文学 ②新思潮 ③武者小路実篤 ④永井荷風
⑤白樺派 ⑥新現実主義 ⑦新感覚派 ⑧明星